



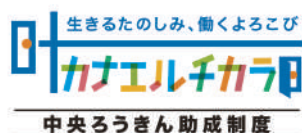
こどもホスピス芸術学校

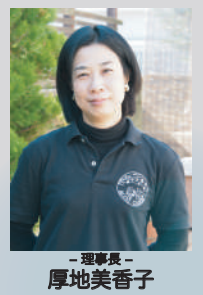


2023 年度 報告書

主催：認定 NPO 法人あっちこっち

助成：中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ”2023・公益財団法人ノエビアグリーン財団



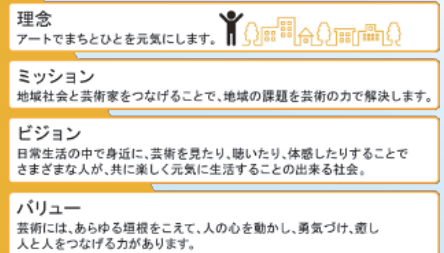


あっちこっちとは

あっちこっちは、東日本大震災をきっかけに2011年に設立した芸術を通じた社会貢献事業を行う団体です。「日常生活の中で、気軽に芸術を楽しめたら良いのに…」そんな思いで私たちの活動はスタートしました。私たちの主催するコンサートやワークショップで人々に笑顔を届けるのは若い優秀な芸術家たち。彼らと一緒に、もっと色々なところへ芸術を届け、笑顔になる人達をさらに増やしたいという思いで活動しています。

活動の特徴

あっちこっちのイベントは、ただ鑑賞するだけではなく、体験型になっており、一緒に参加して楽しめる内容になっているところが大きな特徴です。どんなことも出会い（入口）が大切です。より多くの方に芸術って楽しいなと思っただけのよう、アーティストが近い距離で全員が主役になって楽しめるような工夫をしています。



主要事業について

- こどもホスピス芸術学校 -

横浜市金沢区にある「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」で開催。学校に通えない難病の子どもに芸術を通して新しく学びながら楽しむ時間をお届けしています。

- 子ども食堂とアート体験 -

元ドヤ街である横浜市寿町で毎月1回開催。SDGsゴール1「貧困をなくそう」の「子どもの貧困問題」を広い視点から考え、子ども食堂という「食の支援」とアート体験による「心の支援」を行っています。

- 横浜市芸術文化教育プラットフォーム〜アーティストが学校へ -

2015年より横浜市教育委員会よりコーディネートの委託を受け、音楽・美術・ダンス・伝統芸能など、幅広く活躍しているアーティストを直接学校へ派遣します。

- 国際交流 -

日本と海外のアーティストによる芸術を通じた社会貢献事業。子どものためのワークショップや被災地でのプロジェクトを行っています。

- 被災地支援 -

被災地へ赴きカフェコンサートをしたり、復興公営住宅やこども施設へボランティアによる手作りお菓子を届けています。

こどもホスピス芸術学校とは

治療や入院のため、学校に行くことが出来ず、こどもホスピスを利用している子どもたちに、一人一人の病状や彼らの学びたいという興味・希望に合わせて、音楽・美術・ダンスの各分野、またそれをコラボレーションした「授業」をプロのアーティストが行うプロジェクトです。芸術を通して楽しく学んだり、その子の可能性を広げることにより、子どもの輝く時間を家族と一緒に共有しています。2021年度より本事業が始まりました。

こどもホスピスとは

こどもホスピスは病気とともにある子どもと家族が、第二のおうちのように一緒に安心して過ごせる場所であり、病気のために諦めていた「やってみたい」を叶えられる場所です。日本のこどもホスピスは欧米諸国より遅く、2012年に淀川キリスト教病院にこどもホスピス病棟ができ、独立したホスピスとしては、2016年大阪で開設されたTSURUMIこどもホスピスが最初の施設です。本事業の拠点である「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」は2021年11月にオープンし、独立したこどもホスピスとしては全国2カ所目の施設です。

事業背景

当団体がNPO法人化する以前の市民団体の時から旧知である、病児を持つ家族の支援をしているNPO理事長から命に限りがあるこどもとその家族の現状を聞き、彼らに芸術体験を提供する必要性、また有効性を伺いました。その後当法人は芸術を通じた社会貢献活動をミッションとしてNPO法人、そして認定NPO法人へと10年以上の活動実績を重ねてきました。神奈川県内初のこどもホスピスが開設され、今までの実績をこの芸術学校で活かせる時が到来し、本事業がスタートいたしました。

1年目（2021年度）の活動

①研修会への参加

②ヒアリング

難病の子どもの為の宿泊施設など、7つの施設・団体にヒアリングを行いました。

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト、りらの家、社会福祉法人「訪問の家 朋」、神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ、横浜市多機能型拠点 郷、特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン、チャイルド・ケモ・ハウス

③試運転

こどもホスピス芸術学校、地域向けイベント

2年目（2022年度）の活動

①こどもホスピス施設内での活動

芸術学校として音楽・美術・ダンスの講師が病児への個別授業を14回開催しました。また施設に来られなかったお子さんに授業の動画を新たに編集してお届けしました。更に複数のご家族がオンラインで集まり参加者全員で楽しめる授業を行いました。その他に地域向けイベントを3回、お子さんが天国にいかれたご家族が集まるグリーンカフェでコンサートを1回担当しました。

②ヒアリング

難病の子どもの為の宿泊施設など、3つの施設・団体にヒアリングを行いました。すくすくハウス（千葉県我孫子市）、ドレイク・ミュージック（英国ロンドン）、こどもホスピス・フランシスハウス（英国マンチェスター）

実施内容

①個別授業

個別授業では、子どもだけではなくご家族や友人と一緒にすることもあります。

- 音楽 -

- 4月 ピアノレッスン1回、ストリートピアノ1回
- 5月 ピアノレッスン1回
- 10月 ピアノ×ダンス1回、ピアノ×工作1回
- 11月 ピアノ1回、フルート1回
- 12月 地域向けクリスマスイベント1回、歌とピアノレッスン1回
- 1月 チェロレッスン1回
- 2月 壮行会トロンボーン×ピアノ1回、ピアノレッスン1回
- 3月 地域向けイベント1回



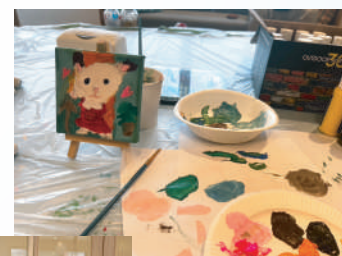
お誕生日に音楽をプレゼント。お子さんのお誕生日はもちろん、友達の誕生日をお祝いしたいというご依頼をいただきました。アーティストとオンラインで友達はどんな音楽が好きかなど打ち合わせをして、一緒に音楽をプレゼントしました。



リクエストによる参加型の動画配信「童謡アイアイ」

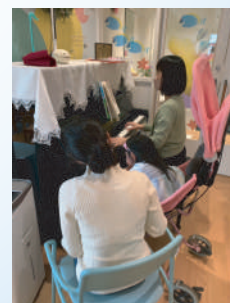
- 美術 -

- 9月 絵画レッスン1回
- 10月 工作×ピアノ1回
- 11月 工作教室1回
- 12月 地域向けクリスマスイベント1回
- 1月 工作教室2回
- 2月 絵画レッスン2回
- 3月 地域向けイベント1回、絵画レッスン1回



- ダンス -

- 10月 ダンス×ピアノ1回
- 3月 地域向けイベント



- オンライン -

- 12月 歌とピアノ1回
- 3月 歌とピアノ1回



- グリーフカフェ -

グリーフケアとは死別の悲しみへのケアのことです。天国にお子さんが旅立たれたご家族が参加するイベントです。自己紹介やお子さんのお話を参加者で共有した後、アーティストが参加者全員のリクエスト曲を演奏します。



②地域向けイベント

多くの方にこどもホスピスを知ってもらい、地域に開かれた施設へするため、地域向けイベントに出演しました。

12月 クリスマスイベント

美術 × 音楽

ふわふわ・カラフルのクリスマスツリー作り & ミニコンサート



3月 春のイベント

美術 × 音楽 × ダンス

花びら舞うクラッカーを うみとそらのおうちを花いっぱいにしてよう

③ヒアリング

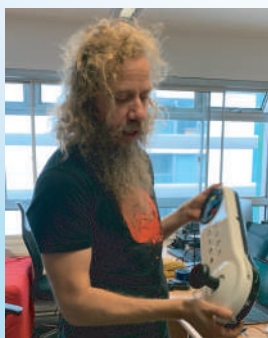
すくすくハウス (千葉県我孫子市)

障害者と社会との繋がりに力を入れている医療的ケア対応施設。障害があってもなくてもどんな人にも芸術に参加出来、楽しんで頂ける事を心掛けていて、世間により障害者を知って貰う努力をしている所が印象的でした。



ドレイク・ミュージック (英国ロンドン)

障がいのある無しに関わらず、どんな人たちとも音楽を通じたコミュニケーションをはかれるプログラムを作っています。ハンディキャップを持つ方に向けての楽器制作やプロジェクトを担当しているティムさんに実際の楽器やその使い方の説明を受けました。



こどもホスピス・フランシスハウス（英国マンチェスター）

代表のデイビッド氏が3時間かけても未だ回りきれないほどの広大な敷地に、利用者の側に立ったきめ細やかな施設とサービスを提供されていました。動けない子、反応ができなくなった子などの五感を刺激する為に作られ「きらきらの部屋」五感を刺激する為に照明や音楽を自由に変えることができる「屋内プール」、親子が分かれて参加が可能な「ワークショップルーム」、柔らかいクッションを敷き、体を動かせる遊び場である「アクティブルーム」、多数の両親が宿泊できる「宿泊棟」、病児の兄弟が集まりゲームをしたり、兄弟を亡くしたお子さんが交流し自身の感情について学びカウンセリングするグループなどの活動を行うも「多目的ルーム」亡くなったお子さんの遺体と共に過ごすことができる場所「Rainbowの部屋」、「教会」、病児がなるべく自由にすごせる「病室」、終わりが近いお子さんのお家族や親族が泊まる「見届ける部屋」、親御さんも入れないスペースがあり、自立心が高まる十代に独立できるスペースを提供している「若者たちの棟」など多数見学させていただき、素晴らしい施設とスタッフ、充実した運営に感銘しました。



2023 年度活動アーティスト

●参加アーティスト 19名

青木佑磨（ピアノ） 池羽由（ソプラノ） 石河美和子（美術） 岩下真麻（ピアノ）
大久保初音（ヴァイオリン） 大辻紗羅（美術） 吳近竹（美術） 小鹿紡（作曲・ピアノ）
小宮哲朗（チェロ） C ュタツヤ（ダンス） 竹内あすか（フルート） 田中愛美（ピアノ）
榎原いちご（フルート） 早坂なつき（ピアノ） 福島未貴（トロンボーン）
槇和馬（ピアノ） 水沼洋華（美術） 宮原健一郎（テノール） 若狭英雄（ピアノ）

●プロジェクトリーダー



水沼洋華（美術）



吳近竹（美術）

活動支援について

「こどもホスピス芸術学校」は助成金や寄付金により運営しています。この活動を長く続けていくために皆様に応援していただけますと幸いに存じます。私共の活動に賛同してくださる方は、ぜひこちらの QR コードから寄付についてのページをご覧ください。当法人への寄付金は、最大 50%の税控除が受けられます。



寄付の詳細は
こちらから

2024 年度の取り組み

これまでの活動を踏まえ 2024 年度は以下の内容を中心に取り組みます。

①より充実したこどもホスピス芸術学校の運営

- ・どの分野の講師も共有できる、子ども一人一人の授業カルテを作成し、事例や経験を積み重ねます。授業の積み重ねにより様々なプログラムができ、一人一人に合ったより良い授業を提供します。
- ・こどもホスピスをご利用のお子さんは急な入院や治療が入ることがありスケジュールが直前まで分からないことがあります。こどもホスピスからの急な依頼に対応できるアーティストバンクのリスト作成を行います。

②地域向けイベントへの出演

- ・こどもホスピスの認知度は、医療従事者でも知らない方がいるほどまだまだ低いです。多くの方にこどもホスピスを知ってもらい、地域に開かれた施設にするお手伝いをします。

③グリーンケアへの参加

- ・こどもホスピスが開催しているグリーンカフェでのコンサートを開催します。天国にお子さんが旅立たれたご家族を対象に、自己紹介やお子さんのお話を共有し、アーティストが参加者全員のリクエスト曲を演奏します。

④研修

- ・こどもホスピスに関係する施設や医療機関の視察、研修会への参加、更に登録アーティスト全員に向けての勉強会を開催し、こどもホスピス芸術学校の発展につとめます。

⑤少しの身体の動きで反応し演奏ができる電子機器教材の開発

- ・どのような病状の子どもでも自らの意思で楽器を演奏できることによる達成感や、子どもの可能性を広げることができるようになることを期待し、英国のこどもホスピスで授業を担当している英国の芸術団体ドレイク・ミュージックからレクチャーを受け開発を行います。

今後の展望

現在全国でこどもホスピスを立ち上げるプロジェクトが行われています。全国に展開されるこどもホスピスに本事業のプログラムを導入できるような仕組みづくりを行えるように考案しています。

①全国のこどもホスピスが活用できるツールやプログラムの作成

- ・このプロジェクトを日本のこどもホスピス芸術学校の先駆けとして、今後全国で展開されるこどもホスピスに導入するためのノウハウを映像などを含めて作成し公開します。

②病院や施設などとの連携

- ・治療や入院のため、こどもホスピスに来られない子どもも授業を受けられるように、こども医療センターなどの病院や障がい児施設と連携します。
- ・また、時間の都合が合わない子や現地での参加が難しい子に動画配信をし、YouTube でどんなお子さんも参加可能な歌や踊りを取り入れた童謡番組を作ります。

③本事業を継続するためのファンドレイジング活動

- ・助成金に頼らずに運営継続するために、寄付や協賛会社を得るためのファンドレイジングの方法を学び、実行します。



音楽・アートで笑顔を!



私たちは人と人とアートでつなぎ、
コミュニティを笑顔にします。

認定 NPO 法人あっちこっち



認定 NPO 法人あっちこっち

〒231-0852 神奈川県横浜市中区西竹之丸 61-5

090-1261-1308

<https://www.acchicocchi.com/>